



ア メ ニ テ ィ 便 り 11 月 号

2019 年 11 月 認定特定非営利活動法人アメニティ 2000 協会

662-0833 西宮市北昭和町 3-20 TEL&FAX 0798-65-4303 携帯 080-3138-4164

E メール soshisha@f6.dion.ne.jp ホームページ <http://amenity2000.la.coocan.jp/>

お知らせ

#秩父鍛鉄の旅 11 月 9 日 (土) 西田光男氏工房 (秩父)

#ヴォーリズ六甲山荘一般公開最終日 11 月 17 日 (日)

#ヴォーリズ六甲山荘大掃除 11 月 23 日 (土・祝)

#新年会 (関西地区) 1 月 13 日 (月・祝) 草志舎

大きなご報告 1 認定特定非営利活動法人の認定更新

アメニティ 2000 協会は特定非営利活動法人 (NPO 法人) のなかでも公益性の高い法人として「認定」を 1914 年に兵庫県から受けました。今年は 5 年ごとの更新年にあたり、2018 年 7 月からチームを組んで、対応にあたってきました。地道でこまかな事務作業と打合せをかさねて、10 月 31 日に認定の更新が県から認められました。対策チームの皆さま、お疲れさまでした。

大きなご報告 2 ヴォーリズ記念・兄弟の森 (第 2 プロパティ) 整備計画に対して助成金をうけました

第 2 プロパティは来年春の公開をめざして、整備作業を続けています。その資金について助成金に応募したところ、次のような助成を受けることができました。

公益信託大成建設自然・歴史環境基金

事業テーマ：文化財と自然・遺産の共生

助成金額：50 万円

整備作業に大きなはずみがつきます。ありがたいことです。

担当：開発委員会申請チーム

ヴォーリズ六甲山荘大掃除&ワインを楽しむ会

六甲山荘の一般公開は今年は 11 月 17 日 (日) が最終日です。そのあと 23 日 (土・祝) に大掃除をして、建物にも人間にも「ご苦労様でした」の打ち上げをします。ワインをあけて、みんなで楽しみましょう！今回も三井住友信託銀行から若いボランティアが参加してくれます。無尽蔵の落葉を掃き、敷地の整備をしていると、体がほかほかしてきます。秋の山上の作業にぜひご参加ください。

日時 11 月 23 日 (土・祝) 午前 10 時から

(記念碑台行きの阪急バスは阪急六甲発 9 時 15 分のみです。)

持ち物 汚れてもいい服装、軍手など

昼食の準備の都合がありますので、ご参加の方は 21 日までにご連絡ください。



パチャリンさん来訪 9 月 10 日 (火) ヴォーリズ六甲山荘

タイ・チェンマイ YMCA のパチャリンさんとプレイさんが六甲山荘に来てくださいました。お二人は教育支援プログラムでお世話になっている YMCA の責任者と主要スタッフで、私たちのタイ交流旅行ではいつもフルアテンドしてくださいます。静岡でのアジア太平洋 YMCA 同盟のアジア大会出席後に神戸に来られました。タイ交流旅行の参加者に声をかけ、同行の YMCA スタッフお二人も一緒に六甲山荘で昼食をとりながら楽しいひとときを過ごしました。



ご報告 セミナー 9月14日(土) 草志舎

9月の講師は石田忠範さん。今回は事前に「ヴォーリズという建築家は知れば知るほど、建築家としての勉強が専門的なところまでは到達しておらず、・・・むしろ素人レベルなのではないかと思ってしまいます」という文章に接してとても驚きました。今回は、建築家のプロとアマの判別の意味を考えてみましょう。というコメントをいただいていたので講義でした。



ご報告 園遊会 9月23日(月・祝) 六甲山荘

台風接近のため開催をどうしようかとギリギリまで迷いましたが、天気が回復して結局園遊会日和になりました。J.Kitagawa と仲間たち(会員北川次郎さんと大阪音大3名)の弦楽四重奏の演奏はすばらしく、参加者の皆さんも喜んでおられました。参加者にはケーキセットをふるまい、希望者にはランチ(ピザとサンドイッチのセット)をお出ししました。石窯は使えませんでした、室内のオーブンとトースターでなんとかピザを焼くことができました。



ご報告 畑儀文の合唱教室 9月30日(月) 草志舎

夏休みあけも元気に参加者がそろって秋の歌に挑戦します。クラシックも童謡も、ハーモニーと声をあわせて歌う楽しさにあふれた教室です。



ご報告 秋の親子クラフトアート教室 10月5日(土) 六甲山荘

残念ながら参加申込者がなく、今回の教室は中止となりました。ですが用意していた材料でスタッフがすてきなリースを7個もつくり、バザーに出品してくださいました。



ご報告 上五島教会と史跡を訪ねる旅 10月18日(金)～21日(月)

すばらしい旅でした。ジャンボタクシー1台で高橋弘一さんのお話を身近にききながらの贅沢な3日間でした。キリシタンが貧しい生活のなかで力をあわせて建てた教会堂、迫害を逃れて隠れ住んだ洞窟だけでなく、最後の寄港地として遣唐使を支えた痕跡、日本各地の石がみられる石塔群、建物にも道にも石が潤沢につかわれている集落などなど、五島が日本と世界をつなぐ位置にあったことを教えてくれる3日間でした。

<参加記> 五島列島～教会をめぐる旅

谷本 雅憲

キリシタン洞窟に上陸して

博多のフェリー乗り場から深夜便で約8時間の船旅。朝がた、奈留島に上陸して教会を巡る旅がスタートしました。今回の旅の中心地となる新上五島町の在る中通島は、十字架をイメージさせる形のしまであり、その島には29もの教会があります。信仰を守り続けるために逃れたキリシタンの祈りの歴史が深く息づいている島でした。

海上タクシーと呼ばれる高速の釣り船で、海からでしか行けないキリシタン洞窟に上陸し、岩場で足を滑らしながら祈りの



場所にも行きました。また、現在無人島となっていますが、当時の野崎島の住民が持ち寄った浄財で作った旧野首教会も人が移住してからすでに40数年経過。風の強い高台の教会は煉瓦づくりとはいえ相当痛みがひどくなっていました。歴史的建造物を風雪から守り、維持管理していくのは何処も大変だなあと感じました。

意外だったのは、隠れキリシタンと教会群をテーマとして世界遺産で注目されている上五島ですが、「国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～」が日本遺産第1号に認定されていたということです。その中では、遣唐使の日本最後の出航地としての史跡が残っており、最澄・空海の二人もこの上五島から出発したと言

い伝えられています。最澄は唐からの帰りに上五島に立ち寄り、山王山（雄嶽日枝神社）を開いたとされています。

最終日に訪れたのは頭ヶ島教会でした。教会の信者が地元の石材を切り出し、10年がかりでようやく完成した天主堂は一見の価値ありです。外壁の石積みつくりとは全く雰囲気の違う花模様の堂内も見どころです。五島列島は、博多又は長崎からの船便がメインとなり、訪れるにはやや不便な地ですが、行けば非日常的な感覚にあふれる地域です。是非一度行かれることをお勧めいたします。

ご報告 てづくり工房ほりだし市 11月3日（日）草志舎

今年も晴天にめぐまれ、皆さんから寄せられた手作り品、ケーキ・惣菜類、寄贈品、農産物でにぎやかな会場となりました。スタッフは例年より少なめでしたが、そこは我が協会の面々、たがいにおぎないあい、助け合って、みごと乗りこえました！皆さん、お疲れさまでした、そしてありがとうございました！

お昼ごはんメニュー：車麩の肉巻き、カボチャのチーズサラダ、花豆、こんにゃくと干しシイタケの煮もの、サツマイモご飯、澄まし汁



＜シンポジウム（8月26日～28日）の参加記＞

8月のシンポジウムに参加してくれた千葉大学の学生さんから参加記が届きました。あの楽しかった3日間を思い出しながらか掲載いたします。

アメニティ2000シンポジウム参加の感想

金子 翼(千葉大学 顕原研究室)

去年に続いて、今年もアメニティ2000のシンポジウムに参加させていただきました。ヴォーリズ六甲山荘を再び訪問する機会が出来て、とても楽しみにしていました。六甲山荘には去年の夏と秋に来ていますが、来るたびに新しい魅力を感じさせてくれます。季節や天気によって色々な様子を見せる自然環境と、それを心地よく感じさせてくれる六甲山荘での体験は本当に癒されます。歴史的な建築物を本来の用途で利用できることは、とても貴重で大切なことだと思います。六甲山荘での3日間は、建築の保存・活用の方法において「使いながら守る」という選択について体験できる素晴らしい機会です。

今年のシンポジウムは昨年よりも多様な議題についての講演で、改めて「歴史的な建築物の保存」というテーマの広がりを実感しました。初日の田淵さんと中嶋さんのお話からは、日本の保存活動の成り立ちや西欧諸国との姿勢の違いについて考えるきっかけになりました。2日目の寺内さんと宇佐美さんの講演は、保存活動の中でも建築物と切り離して考えることはできない、国立公園や文化財修復についてでした。やはり建築物だけが保存されれば良いということではなく、自然遺産・文化遺産と総合的に継承されていくことが理想的な形だと思います。他にも様々な専門的な知見を持った方々とお話しする機会をいただけて、本当に勉強になりました。

最後になりましたが、いつも温かく迎えてくださるアメニティ2000の皆様、本当にありがとうございます。いつかこの経験を還元できるように精進しようと思います。



山荘の生活で気付かされたこと

木内 佑

今回初めて六甲山荘のシンポジウムに参加し、池の整備のお手伝いをさせていただきました。ヴォーリズ建築の周辺のお手入れをできたことは貴重な経験だったと思います。

この活動に参加するまで、ヴォーリズの山荘の中に泊まれて、シンポジウムを行うことについて全く想像できませんでした。文化財に泊まってもよいのかとか、大人数が集まってシンポジウムを開くことが可能なのかと疑問に思っていました。しかし、実際にここに泊まって、シンポジウムに参加したことで、文化財で生活することの重要性に気付かされました。

今までの私は、文化財に対して慎重に考えすぎていたのかもしれませんが。なるべく触らないように大切に扱おうという考えが強く、その周りにいる人についてあまり考えたことがありませんでした。

そのため、今回参加した六甲山荘のワークショップで、自分たちの手で山荘やその周辺の環境を整備していたこと、参加しているみなさんが笑顔で自信を持って活動していたことは衝撃的でした。文化財を守ることは、その周辺で生活する人たちの文化も守る必要があるのだと気付かされました。

普段では気づけないことに気づけた非常に良い機会となりました。大変貴重な経験を



させていただいて本当にありがとうございました。

アメニティ 2000 シンポジウム参加の感

柳沢 大地

今回の六甲山シンポジウムに参加して、建築を保存し活用することの可能性を感じることができました。ヴォーリスの山荘を中心にして、周辺の自然環境を含めた活用を、みなさんが大変いきいきと行っているのが印象的で、普段、大学で建築を勉強してはなかなか見ることのできない光景がとても新鮮で、うれしくもありました。自然の中で働き、おいしいごはんを食べ、語り合うという一連の体験がとても贅沢であり、生活とはこうあるべきだなあと目が覚める思いでした。民間で、地縁や専門の関係を超えて、このような環境保全のためのコミュニティが形成されているということは非常に価値があることだと思います。

また、様々な専門家の方々のお話を非常に近い距離で聞けるというのも、大学ではできない貴重で贅沢な経験でした。私たちの拙い発表に対しても真剣に議論をしてくださり、相互に学びあうことができたことがとても刺激的で、こういった学びあう場としても素晴らしい活動であると思います。今後こうした活動が、普段の私たちの生活に広がっていけば素晴らしいなと感じました。今後、建築に関わっていくなかで、今回の経験をいかしていきたいと思います。

最後になりましたが、初めての参加であったにも関わらず、明るく迎え入れてくださったアメニティ 2000 の皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。



8月9日の第2 プロパティ整備作業

気温がさがらないうちにとがんばっていた小寺池関連の作業は一段落しました。池を掘削し、導水路をつくり、池出口の滝を形づくるなど、足を泥にとられる難作業でした。8月初旬には大阪芸大の福原教授や学生さんたちがこられて、技術的にもマンパワー的にも助けていただきました。8月下旬のシンポジウムでは千葉大学学生さんをふくむ参加者が活躍してくださいました。

池の中島づくり



新年会のご案内

2020年の新年会を次のように開きます。にぎやかにおしゃべりしながら新年の抱負をかたりあいませんか。ご参加お待ちしております。

日時：1月13日（月・祝） 12時～ 場所：草志舎 参加費：1500円

準備の都合上ご参加の方は1月10日までにご連絡ください。詳しくは同封の案内チラシかホームページをごらんください。

六甲山荘たより

8月9日の六甲山荘

今年の夏も暑かったですね。けれど夏別荘であるヴォーリス六甲山荘には涼しい風がとおりさわやかに過ごせて、下界の暑さを忘れます。8月下旬にはシンポジウム、9月には園遊会と大きな集まりがあり、9月末からは六甲山上建築ツアーも始まりました。

公開日数：20日 平日団体：2組 来場者数：235名 宿泊3件（9名）

予告

英国ナショナル・トラストの旅

アメニティ 2000 協会はナショナル・トラスト運動の老家、英国にナショナル・トラストの姿をみる旅を7回、つづけてヨーロッパの文化遺産を訪ねる旅2回行いました。2020年は創立20周年にあたり、その記念事業として、英国ナショナル・トラストの旅総集編を企画しました。現在詳細をつめているところです。正式なご案内は正月号でお送りしますが、以下のような予定です。楽しみにお待ちください。

日程：2020年5月25日（月）～6月2日（火）

おもな訪問先：湖水地方、コッツウォルズ、レイコックアベイ、シシングハーストガーデン、ロンドンなど

静岡英和女学院旧宣教師館で宿泊ができるようになりました

静岡英和女学院旧宣教師館はヴォーリズの設計で 1950 年に建てられたスパニッシュ様式の建築です。現在は会員の榎戸基さんがご夫婦で保存・運営しておられます。国登録有形文化財でもあります。アメニティ 2000 協会は 2016 年に訪問し、住み心地のよさそうな佇まいと榎戸さんたちの熱意に感動しました。

このたびこの宣教師館に宿泊ができるようになりました、静岡に行く機会があればぜひ訪問して、宿泊も体験なさってはいかがでしょうか。
お問い合わせは 054-277-9090 まで。



募金のご報告～8月9月

8月、9月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました（敬称略）

＜六甲山荘屋根葺替え資金＞≪8月9月合計 198,100円 2019年度累計 601,574円≫

＜一般資金＞

≪8月9月合計 31,747円 2019年度累計 267,044円≫

＊文化遺産継承基金

≪8月9月合計 364,790円 2019年度累計 868,618円≫

五島の旅



江上天主堂（世界遺産・重要文化財）



キリシタン洞窟の岩場



日島の石塔群

（浜辺に中世以降の石塔が林立している）



頭ヶ島天主堂（世界遺産・重要文化財）



赤尾集落（五島石を多用した町並み）



山玉山菴之宮の巨岩の下で